

毎月勤労統計調査地方調査

令和２年夏季賞与の支給状況

1 夏季賞与集計の説明

この結果は、令和２年６月分から令和２年８月分の毎月勤労統計調査地方調査の「特別に支払われた給与」のうち、賞与・ボーナスとして支給された給与（以下「夏季賞与」という。）を抜き出して集計したものである。

2 概況（事業所規模：常用労働者数３０人以上）

(1) 賞与支給労働者１人平均賞与支給額

調査産業計の夏季賞与の１人平均支給額は、３７１，８０４円、前年比は４．６％増であった。産業（大分類）別の支給額、及び対前年比を比較すると以下のとおりである（産業別比較については、秘匿している鉱業を除く。以下同じ）。

順位	産業	１人平均賞与 支給額(円)	対前年 増減率(%)
①	電気・ガス・熱供給・水道業	818,798	2.2
②	学術研究, 専門・技術サービス業	769,215	16.7
③	情報通信業	697,146	17.8
④	教育, 学習支援業	653,143	7.9
⑤	建設業	652,109	△ 14.6
⑥	金融業, 保険業	598,966	7.5
⑦	製造業	392,242	△ 17.0
⑧	医療, 福祉	359,986	13.8
⑨	複合サービス事業	318,328	△ 23.2
⑩	不動産業, 物品賃貸業	268,751	△ 33.5
⑪	卸売業, 小売業	255,796	△ 9.1
⑫	運輸業, 郵便業	237,957	13.2
⑬	サービス業（他に分類されないもの）	172,485	25.9
⑭	生活関連サービス業、娯楽業	120,793	△ 11.3
⑮	宿泊業, 飲食サービス業	68,911	21.3

(2) 賞与支給月数

調査産業計の夏季賞与の１人平均支給月数は、１．１４か月、前年と同水準であった。産業（大分類）別の支給月数、及び対前年差を比較すると以下のとおりである。

順位	産業	１人平均賞与 支給月数(ヵ月)	対前年 増減差(ヵ月)
①	学術研究, 専門・技術サービス業	2.51	0.73
②	教育, 学習支援業	2.04	0.25
③	電気・ガス・熱供給・水道業	1.92	0.00
④	建設業	1.64	△ 0.20
⑤	情報通信業	1.60	0.14
⑥	金融業, 保険業	1.38	0.08
⑦	複合サービス事業	1.26	△ 0.25
⑧	製造業	1.08	△ 0.41
⑨	医療, 福祉	1.04	△ 0.05
⑩	卸売業, 小売業	0.99	△ 0.03
⑪	不動産業, 物品賃貸業	0.95	△ 0.38
⑫	サービス業（他に分類されないもの）	0.95	△ 0.01
⑬	運輸業, 郵便業	0.84	0.02
⑭	生活関連サービス業、娯楽業	0.54	△ 0.12
⑮	宿泊業, 飲食サービス業	0.47	0.09

*** 利用上の留意点 ***

- 「賞与支給労働者１人平均賞与支給額」とは、６月から８月までの間に賞与を支給した事業所（以下「賞与支給事業所」という。）における１人平均賞与支給額（支給を受けていない者も含む）である。
- 「賞与支給月数」とは、賞与支給事業所における１人平均賞与の所定内給与に対する割合を賞与支給事業所数で単純平均したものである。
- 「賞与支給労働者比率」とは、全常用労働者数（全事業所）に対する賞与支給事業所における労働者数の割合である。
- 「賞与支給事業所比率」とは、全事業所数に対する賞与支給事業所数の割合である。